

研修名 表現領域研修2 音楽療育研修（公開保育）

平成27年6月8日（月）10:00～15:00

講演 「楽しい音楽遊び」

講師 今里保育園 笠置 英恵 氏



1 公開保育

1) ほし組（年少児）16名 音楽遊び 見学

- ① 手を叩こう足を鳴らそう
ねらい…始まりの歌と認識し、活動へのモチベーションを高める。
自分の番を期待して待つ。
「大きく小さく」を表現し隣の友だちとぶつからないような「適度」を知る。
空間認識
- ② あ・い・うの歌
ねらい…最初に「こ」がつくということばの概念を知り、言葉の語彙を増やす
- ③ みんなで太鼓を叩こう
ねらい…ゆっくり、やさしく叩くことで力の制御（コントロール）する力を養う。
大きく速くで開放、緩急のコントラストを楽しむ。
- ④ ポーズゲーム
ねらい…Stop（音が止まる）Go（音楽がなる）を理解し、即時模倣。
平面に書かれた図を見て奥行きを感じて模倣
- ⑤ ふうせん
ねらい…色から連想してイメージする力を養う。



2) そら組（年中児）32名 音楽遊び 参加

- ① あの青い空のように さあみんなが
ねらい…始まりの歌、活動のモチベーションを高める。
隣の先生とスキンシップをとることで楽しい雰囲気を作る。
身体認知
- ② ハイハイハイ
ねらい…歌詞をよく聞かないと合いの手が入れないので注意して聞く
→集中力を高める。
楽しい雰囲気を共有する。
- ③ ごんべさんの赤ちゃん
ねらい…シンプルな歌詞に合わせて手指を動かすことで脳の活性化をはかる。
- ④ Stomp, Clap&Blow
ねらい…Stomp（足踏み）Clap（手拍子）だけでも音楽になる楽しさを味わう。
音楽を聴き、身体を動かす即時反応により集中力を高める。

⑤世界はうらがえし

ねらい…一緒に活動したみんなで手をつなぐことで一体感を感じる。

自分だけでなく他者の動きを感じながら動くことで社会性を養う。

3) ゆき組 (年長児) 32名による歌物語「エルマーのぼうけん」発表

4) 「音楽物語 大きな木」体験

参加者の中から11名が体験。

ピアノ・トーンチャイム・ウインドチャイム・太鼓を使用。



5) 参加者全員による感想や質疑。笠置先生による応答。(一部を抜粋)

- ・「楽しくないと意味がない」という先生の言葉がとても印象に残った。
- ・ホールに入ってきた子ども達の生き生きとした表情がとても印象的だった。先生がとても楽しまれていて、見ている自分も楽しくなり、参加したくなった。
- ・音楽あそび・リトミック・ピアノと苦手な分野で、構えてしまうことが多く、日々の保育に生かせればと思い参加をした。まずは自分自身が楽しむことが大切だと感じた。
- ・公開保育の中で、年齢よりは少し難しいのではと感じる場面があった。反応があまりない乳児の子の姿があるがどうしたらよいか?
 - 反応が無くても、少し難しいかなという言葉でも、続けることで心の中に響いてくる。
 - 子ども達に刺激のシャワーをあびさせてあげる。遊び心を刺激として与えてあげることで、成長・発達につながっていく。
- ・乳児の子が楽しめる楽器はどんなものがあるか?
 - 振って音が出る楽器。エッグマラカスなどはとても喜ぶ。

2 感想

今回、音楽遊びに対して苦手意識があり、今後の保育に活かしていければと思い参加をしました。公開保育が始まり、目を輝かしワクワクした表情でホールに入ってきた子ども達。音楽遊びが始まり、見ていた私も“一緒にしたいな” “楽しいな”と感じ、子ども達の気持ちに共感することが出来ました。

回数を重ねることで、楽しい時間だと子ども達が感じていることもあるが、何より先生自身が楽しまれている事で、子ども達も参加者も引き込まれているのだと感じました。「音楽遊びの1つ1つの活動に意図があるが、まずは楽しくないと意味がない」と言われていた言葉がとても心に響きました。遊びを通して、様々なことを学び、身につけていく子ども達。その育ちの場を大切にするためにも、まずは保育者自身が楽しんでその姿を見せたり、楽しい時間を共有することがとても大事なのだと改めて実感しました。今日学んだ内容を、各年齢に応じた内容にしたり、設定保育にこだわらず、様々な時間の中で取り入れていければと思います。苦手だから・・・と肩に力を入れずに、まずは子ども達と楽しむことを大事にしていきたいです。

(記録 吉津保育園 中嶋 いずみ 中西 佐恵子)